

指揮 / 松尾 葉子

ヴァイオリン / 関谷 まり

ピアノ / 志村 宰

# 第12回 新進演奏家 コンサート

## プログラム

ブルッフ  
ヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調 作品26…〈関谷 まり〉

モーツァルト  
歌劇「魔笛」序曲 K.620

モーツァルト  
ピアノ協奏曲第20番 二短調 K.466……………〈志村 宰〉

管弦楽 / セントラル愛知交響楽団

2024 9/30 MON

18:00〈開場〉 18:45〈開演〉

全指定席 入場料 1,000円

※未就学児のお子さまの同伴・入場はご遠慮ください。

名古屋市青少年文化センター  
アートピアホール

名古屋市中区栄三丁目18番1号 ナディアパーク11階

### 交通アクセス

地下鉄東山線・名城線「栄」下車 南へ徒歩7分  
地下鉄名城線「矢場町」下車 5・6番出口より西へ徒歩5分

お問い合わせ / チケット取扱い

山田貞夫音楽財団事務局 ☎ 052-533-6708

主催



公益財団法人  
山田貞夫音楽財団



松尾 葉子 *Yoko Matsuo*

指揮者  
*Conductor*

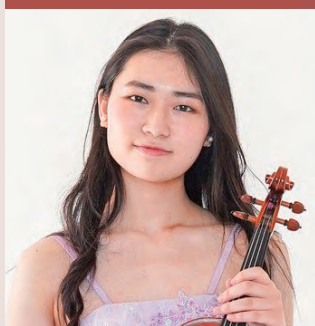
1982年フランスのブザンソン国際指揮者コンクールで女性として史上初、また日本人としては小澤征爾について二人目の優勝という壮挙により、一躍注目を集める。名古屋生まれ。

1981年国際ロータリー財団の奨学生としてフランスに留学、パリ・エコールノルマル音楽院指揮科でピエール・デルヴォー氏に師事。1983年『若い芽のコンサート』でNHK交響楽団を指揮。1984年二期会公演の『メリー・ウイドウ』を指揮してオペラデビュー。1999年セントラル愛知交響楽団の常任指揮者に就任。2001年ニューヨーク・カーネギーホールにてベートーヴェンの第九を指揮。2017年1月にはアムステルダム・コンセルトヘボウにて「ヴェルディ：レクイエム」を演奏し、好評を博す。平成28年度愛知県芸術文化選奨を受賞。

著書「指揮者にミューズが微笑んだ」(2003年論創社)、「指揮者、この瞬間」(2008年樹立社)がある。東京藝術大学指揮科教官を30年間務める。2015年～2020年まで愛知県立芸術大学客員教授。海外での活躍は1982年以来、ブザンソン交響楽団、パリ・ラムルー管弦楽団、ベルギー・ブリュッセルの放送オーケストラのコンサート、録音等を手掛ける。

現在、セントラル愛知交響楽団特別客演指揮、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ名誉指揮者。2022年から「超!有名曲シリーズ」のメイン指揮者に就任。

公式ホームページ <https://yoko-matsuo.com/>



ヴァイオリン  
*Violin*

関谷 まり  
*Mari Sekiya*

愛知県立芸術大学音楽学部器楽専攻弦楽器コース卒業。  
NHK名古屋青少年交響楽団に2013～2017年に所属。  
第27回日本クラシック音楽コンクール全国大会出場。  
2018年度第19回大阪国際音楽コンクール 部門 Age-H 入選。  
2019年度第20回大阪国際音楽コンクール 部門 Age-U 入選。  
ぎふ・リスト音楽院マスターコース2017・2018・2019・2023を受講。

第37回子供のためのヴァイオリンコンクール in 刈谷 銀賞。  
奏心会主催チアアップコンサート出演。室内楽の夕べvol.21出演。  
ぎふ弦楽器貸与プロジェクト《STROAN》に2024年3月まで所属。  
これまでにヴァイオリンを林茂子、サバディー・ビルモシュ、福本泰之、フィデリコ・アゴスティーニ、島田真千子氏の各氏に師事。  
また、オーケストラや室内楽等でヴィオラの演奏も経験。  
宗次ホール主催ランチタイムコンサートに多数出演。  
きら星メンバーとしてYouTubeでも活動中。



ピアノ  
*Piano*

志村 宰  
*Tsukasa Shimura*

6歳よりピアノを始める。  
第35回愛知ピアノコンクール大学部門金賞、併せて中日新聞社賞受賞。

第12回岐阜国際音楽祭コンクール第1位。  
第38回名古屋演奏家育成塾 名古屋市長賞、聴衆賞、他受賞。  
第12回山田貞夫音楽賞、山田弘子特別賞、特選受賞。

「ピアチュレ・コンサート2014」で指揮角田鋼亮氏のセントラル愛知交響楽団とグリーグのピアノ協奏曲、2019年「コンチェルトの夕べ」でブラームスのピアノ協奏曲第2番を演奏。

これまでに長坂明美、河原元世、西典代、東誠三、鈴木謙一郎、イリーナ・チュコフスカヤ、武内俊之の各氏に師事。

愛知県立明和高等学校音楽科、愛知県立芸術大学卒業、愛知県立芸術大学博士前期課程修了。現在は、声楽、合唱の伴奏、後進の指導にあたる。

セントラル愛知交響楽団

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2023年創立40周年を迎えた。2024年4月から音楽監督に名古屋出身の角田鋼亮が就任。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。2020年度より公益財団法人山田貞夫音楽財団指揮者オーディション最優秀者をアソシエイトコンダクター(任期2年)に迎えており、2024年度はリカルド・A.ゴンザレス、今木智彦の両名が就任。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、第九公演の他「超!有名曲」「Wコンチェルト」「オペラハイライト」の各シリーズを自主公演として展開。バレエ、オペラ等の依頼公演にも数多く出演し、独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組んでいる。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。